



情報学部 情報学科 教授

筒口 拳 TSUTSUGUCHI Ken

E-mail/kent@cis.sojo-u.ac.jp

研究の様子を
動画で配信

研究業績
データベース



コンテンツと情報とを連携させる画像処理技術

～人と環境とを視覚情報を介してICTでつなぎ、生活等を支援する技術の研究～



研究シーズ概要

人は自分を取り巻く環境と関わりを持ちながら生活しています。環境とは人であったりモノであったり、コンテンツや情報だったりします。当研究室では、人と環境(人・モノ・コンテンツ・情報)とを、主として視覚情報を介してICTでつなぐことにより、人々の生活や活動を支援することができる技術の研究を行っています。

本テーマでは、主に紙媒体に印刷された画像コンテンツをカメラ等で撮影し、コンテンツ内に隠された情報を取得してネットに誘導することで、アナログのオフラインコンテンツからデジタルのオンライン情報にアクセスすることを可能とする技術に取り組んでいます。



利点・特長・成果

たとえば、ポスターやデジタルサイネージのコンテンツにスマホのカメラをかざしたりメガネ装着型カメラで「見る」だけで、ネットにある情報を提示したりIoTデバイスや家電製品の制御を行うことが可能となり、電子機器を装着できない媒体もネットと連携することができたり、また、特にハンディキャップを持つ人や高齢者など、情報弱者と言われる方々の生活支援につなげることが可能となります。

その他の研究シーズ

- 人の動作を実写ビデオから解析し、イラスト化することでわかりやすく伝える研究
- 手話映像から主要な画像フレームだけを抽出して文章を数コマで送信できるようにする要約技術の研究



キーワード ビジュアルメディア処理、オフライン・ツー・オンライン、人と環境(人・モノ・コンテンツ・情報)とのコミュニケーション

本技術に関し、対応可能な連携形態(サービス)

知財活用	可	技術相談	可	共同研究	可
施設機器の利用	可	研究者の派遣	可	技術シーズ 水平展開	可

開発段階

5	第5段階	製品・サービス化(試売/量販)段階	2	第2段階	試作(ラボ実験レベル)段階
4	第4段階	ユーザー試用段階	1	第1段階	基礎研究・構想・設計段階
3	第3段階	試作(実証レベル)段階			

SDGsの目標

3 すべての人に健康と福祉を

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを